

今日の聖書箇所は1ペテロの手紙です。このペテロの手紙というのは、イエス様の弟子のペテロさんからポント、ガラテヤ、カパドキヤ、アジヤ、ビテニヤという地域に住んでいて、神様のお話をするために選ばれた人たちに送った手紙です。この人たちは迫害と言ってたくさんの人たちに意地悪なことをしていました。その人たちのためにペテロさんは手紙を書きました。

この手紙の初めにはイエス様が十字架にかけられ、死に蘇ること、そのことによって私たちが新しく希望を持って生きていけるようになる事が書かれています。そして、天にはたくさん資産があり、それはなくなる事がなく、それをもらう事ができずとペテロさんは言っています。資産と言うと「お金とかかな?」と思う人が多いかもしれません。「これ!」と書いてあるわけではありませんが、「幸せだなあ。」「嬉しいなあ。」と言う気持ちを神様はたくさん用意してくれていると言っている人もいました。

そして神様を信じる事で、神様に守られ、終わりの時に救われると書かれています。この終わりというのは、またイエス様が私たちのところに来てくださるときのことを言っています。今はそばにいないけれど、イエス様がお弟子さんたちのところに戻ってくるまで、希望を持って話続けていけば、いつか終わりが来て幸せになれる、と伝えています。

私の友だちはすごくポジティブで希望を持つよりも自分で叶えていくタイプで「人生一度きりだから、やりたいことはなんでもする」と決めています。食べたいものは食べる。行きたいところは行く。会いたい人に会う。嫌なことは楽しいことで忘れる。小さい嬉しいことを見つけていく。と決めているそうです。小さい幸せが見つかったら、苦しいことや辛いことを忘れられるそうです。

希望を持って生きていくことも素敵だし、自分で掴みにいくエネルギーな行動もいいと思います。神様やイエス様がそばにいてくださることを覚えて、自分にあった幸せな生き方ができるといいですね。

